

研究課題名： 集中治療部（ICU）における抗菌薬使用状況調査

所属（診療科）：集中治療部

研究責任者（職名）：牧野 淳（科長）

研究期間：倫理委員会承認より 2020 年 3 月 31 日まで

研究目的と意義：ICUにおける抗菌薬の適正使用は耐性菌のみならず医療費を減少させる可能性がある。現在、厚労省が主体となり antimicrobial stewardship（AS：抗菌薬適正使用支援）による抗菌薬適正使用推進が勧められており、そのプロセス評価の 1 つとして、抗菌薬使用量調査がある。しかし、日本において ICU に特化した多施設抗菌薬使用量調査の報告はなく、今後経年的・定期的に行うことで各施設における AS 活動との関連を検討することが本研究の目的である。また、それらに感染症を専門とする antimicrobial stewardship team (AST) または infection control team (ICT) がどのように関与すべきかを各施設における AST、ICT 活動の状況調査も併せて行い検討するのが目的である。

研究内容： ●対象となる患者さん：倫理委員会承認以降に横須賀市立うわまち病院特定集中治療室へ入室された全ての患者さん ●研究方法：1) 薬剤部門の払い出しデータ、レセプトデータ、電子カルテなどの実施データ等から、年度毎の各抗菌薬の抗菌薬使用密度（antimicrobial use density：AUD）と使用日数（days of therapy：DOT）を調査する。AUD が多くの施設で用いられているが、AUD が実使用量ではなくバイアル換算でしか算出できない、小児や腎透析患者、ICU 入室患者では維持投与量より実際の 1 日使用量が少ないなどの問題から、近年では DOT による評価が望ましいとする報告もあるため、AUD に併せて DOT を年度ごとに調査し集計する。2) ICU における ICT の抗菌薬の適正使用の活動について各施設の状況を調査する。①ICU における薬剤師の配置の有無、②抗菌薬使用届け出制や許可制などの運用状況とその遵守率、③抗 MRSA 薬（バンコマイシン、テイコプラニン、アルベカシン）使用患者における TDM（血中濃度測定）実施率および薬剤師による解析件数、④ICT または感染症診療部門の抗菌薬の適正使用のための指導的ラウンドの実施状況（カルテのみのラウンドは除外）等についてアンケート調査とデータの集計を行う。

本研究は、兵庫医科大学病院薬剤部が研究責任施設として行う多施設共同研究である。

問い合わせ先：研究担当者 氏名：牧野 淳 住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36 電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305 受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）